

## フェアプレイインタビュー

【スキー・ジャンプ競技】  
小林 陵侑選手



### プロフィール

生年月日：1996年11月8日  
出身地：岩手県八幡平市  
趣味：シーズンオフにはゴルフで息抜きも。

★ジャンプW杯  
2018~19総合優勝

# どうなりたいか自分で考えて

## ヨーロッパの選手以外で初の王者に

スキーのジャンプ競技で、小林 陵侑選手はヨーロッパの選手以外で初のワールドカップ（W杯）総合優勝に輝きました。世界のトップ選手が参加するW杯で1勝するのも大変なことです。小林選手は2018~19年シーズン個人戦で全28戦中13勝の偉業を達成しました。

「う。こう考えることで、精神的にも安定し、結果も出るようになったそうです。この競技は風の方や強さ、積雪の状態などが距離に大きく影響します。ジャンプする順番やタイミングで気象条件が変化し、結果に影響することもあります。しかし、小林選手は与えられた条件で目の前のジャンプに集中しようと努めたことが好結果につながりました。

新しいシーズンは11月22日のポーランドでの大会からスタートします。小林選手は「自分のできるジャンプをして、まず1勝し、最終的に総合2連覇できれば」と目標を掲げました。

## 頂点に立つてあらためて感謝

日本スポーツ協会が定めたフェアプレイ7カ条には「感謝しよう」という項目がありますが、小林選手は「（総合優勝した）立場になって、会場設営する人たちがいるんな人へのありがたみが増しました」と話します。チーム運営や大会開催にかかわる人たちがあってこそ、今の自分があることに深く



「フェアプレイ宣言」しました!!

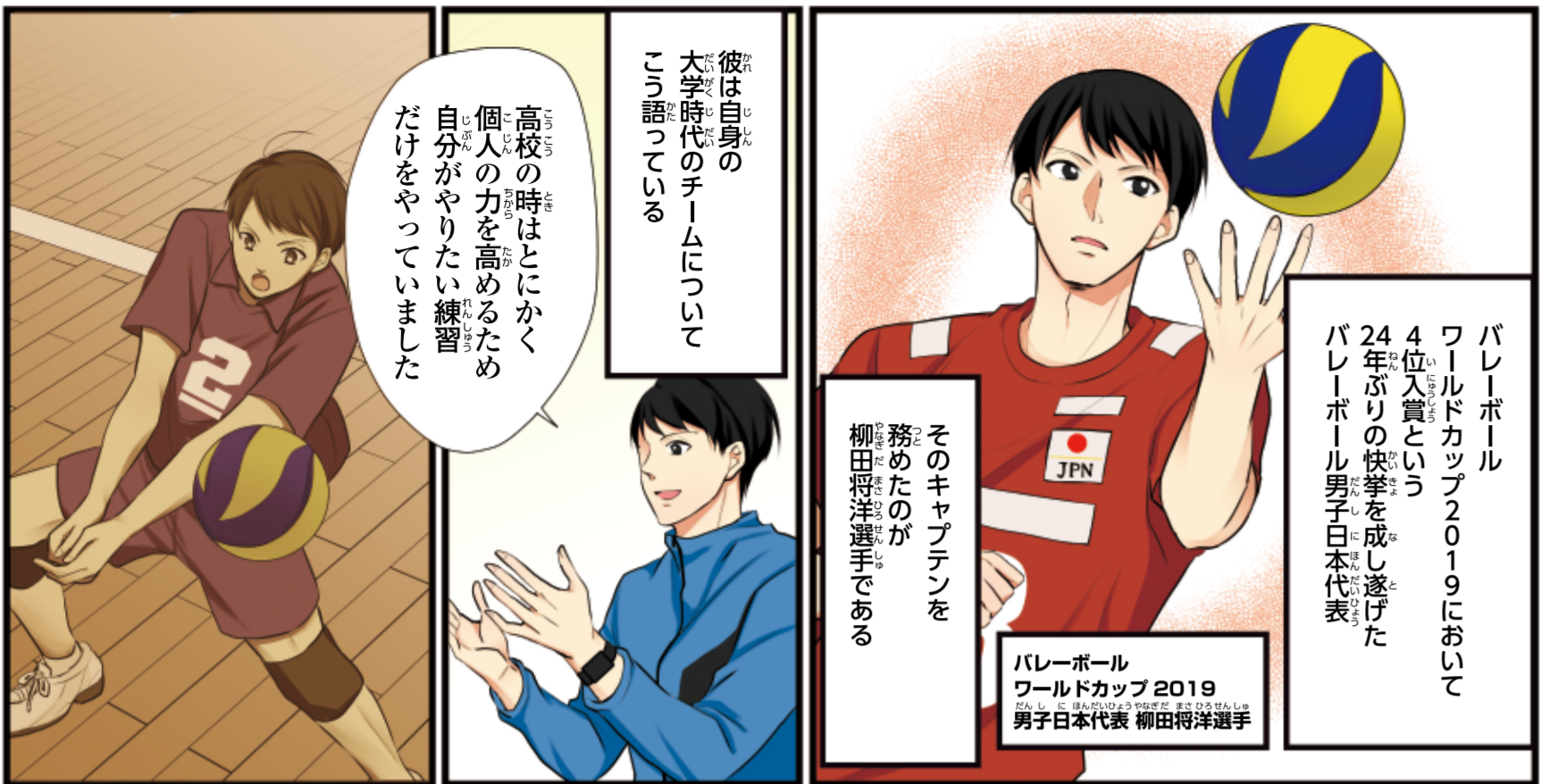
# お互いを尊重し支え合う大切さ

## 男子バレーボール 柳田将洋選手

バレーボール  
ワールドカップ2019において  
4位入賞という  
24年ぶりの快挙を成し遂げた  
バレーボール男子日本代表

そのキャプテンを  
務めたのが  
柳田将洋選手である

バレーボール  
ワールドカップ2019  
男子日本代表 柳田将洋選手



彼は自身の  
大学時代のチームについて  
こう語っている

高校の時はとにかく  
個人の力を高めるため  
自分がやりたい練習  
だけをやっていました



今日みんな  
レシーブの練習を  
しよう

良いレシーブって  
何だろう?

大学に入ってからの  
チームは  
色々な意見を出し合い  
練習をしていました

僕は  
こう思う

思いやりを持った  
ホジティブな提案で  
頭ごなしに  
否定はしません

こうしたら  
いいんじゃない?

分からないことや  
自分とは違う意見が  
あったりしても

その「致意」感が  
すごく好きでした



大学時代のチームという  
新しい環境で  
個人の力を磨くことだけを  
意識するのではなく

お互いの意見を  
受け入れ合う  
チーム作りを経験した  
柳田選手

お互いのことを尊重し  
支え合うことの大切さを  
学んだことだろう

これからも思いやりと  
仲間を信じる心を大切に

更に活躍  
ついでにほつ